

NEC

N8560-22 **外付 DAT 取扱説明書**



ご注意

- 製品をご使用前になる前に必ず本書をお読みください。
- 本書は、熟読の上、大切に保管してください。




安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様の危害や財産への損害を未然に防止するために、次の表示を使用しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を説明しています。

	警告	この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容または物的損害のみの発生が想定される内容です。

お守りいただく内容を説明しています。

	気をつけていただきたい「注意」内容です。
	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意 必ずお守りください



警告



本装置の分解や改造は絶対にしないでください。
(本体カバーを外すなど)
火災や感電の恐れがあります。



本装置の上や近くに液体等を置いたり、内部に金属類や異物を入れないでください。
もし、万が一異物等が混入してしまった場合には、回路部分のショートや感電を防止するためにも、すみやかに(電源スイッチを切り)電源プラグを抜いてください。



本装置が万が一破損した場合、もしくは異音や異臭が生じた場合には、回路部分のショートや感電を防止するためにも、すみやかに(電源スイッチを切り)電源プラグを抜いてください。



雷が鳴り出したら感電の恐れがありますので、電源プラグに触れないでください。

安全上のご注意 必ずお守りください



注意



本装置を不安定な場所に設置しないでください。
落ちたり、倒れたりして思わぬけがの原因となります。



直射日光のあたる場所や、異常に温度が高くなる場所に置かないでください。



通風口をふさがないでください。



湿気やほこりの多いところに置かないでください。



サーバや周辺機器の接続 / 取り外しをする場合には、必ず大もとの電源コードをACコンセントから抜いてください。
電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま、接続 / 取り外しをすると、感電の恐れがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。



電源プラグを接続する際は、火災や感電を防止するためにきちんと奥まで挿入してください。



電源ケーブルの接続や配線は、本マニュアル13ページの接続方法に従って正確に行ってください。



指定外のコンセントを差し込まないでください。
電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。



指定以外の電源コードは使わないでください。
本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災になることがあります。



電源コードをたこ足配線にしないでください。
コンセントに定格以上の電流が流れるので、コンセントが過熱して火災の原因となることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください



注意



コードを持って引き抜かないでください。

電源プラグを抜くときは必ずプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となります。



プラグを抜かずにケーブルの取り付け・取り外しをしないでください。



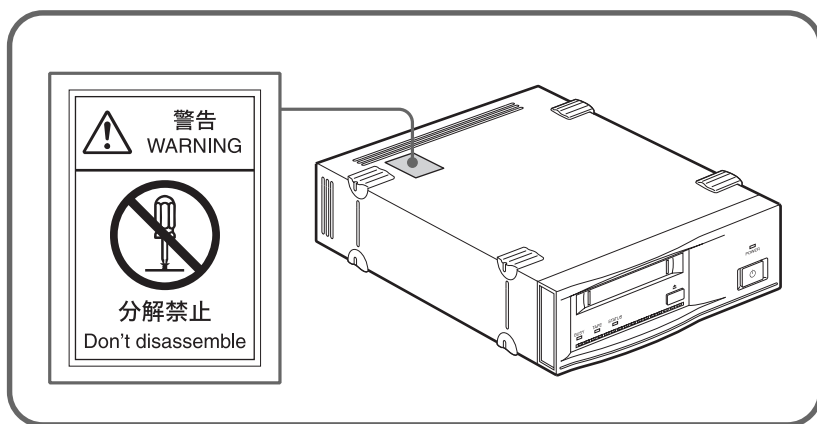
装置の近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使用しないで下さい。誤動作の原因となる場合があります。

⚠ 分解禁止ラベルについて

本装置には分解禁止ラベルが貼り付けられています。

本装置を分解しないでください。(ラベルをはがしたり汚したりしないでください。)

もしこのラベルが貼り付けられていない、またははがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは、販売店にご連絡ください。



目次

⚠ 安全にお使いいただくために	2
説明書の使いかた	7
梱包箱の中身	8
梱包材	8
開梱	8
概要	9
外付DAT装置について	9
各部の名称と働き	10
準備	13
接続のしかた	13
SCSI ID の設定	14
使いかた	15
サーバ側の設定方法	15
外付DAT装置を使う	17
4mmデータカートリッジの取り扱い	21
4mmデータカートリッジの構造	21
仕様・保管・運搬条件	21
ラベル	22
ライトプロテクト	23
取り扱い上の注意事項	23
使用禁止基準	25
寿命	25
重要なデータのセーブについて	26
データの3世代管理について	27
付録	28
主な仕様	28
LED表示一覧	29
運用状況お客様記入シート	32

説明書の使いかた

この取扱説明書は、本装置の使いかた、取り扱いかたについて説明しています。お使いになる前に必ずお読みください。

この説明書は、次の4つの項目と付録で構成されています。目的に合わせてお読みください。

概要

本装置の特長やシステム構成、各部の名称と働きなどについて説明しています。

準備

本装置とホストコンピュータや他のSCSI周辺機器との接続のしかたと本装置の機能やSCSI IDの設定のしかたについて説明しています。設置の際にお読みください。

使いかた

本装置の電源の入れかた、4mmデータカートリッジの入れかた、取り出しかたについて説明しています。実際にお使いになるときにお読みください。また、ヘッドのクリーニングについても説明していますので、お使いになる前に必ずお読みください。

4mmデータカートリッジの取り扱いについて

4mmデータカートリッジの取り扱い上の注意について説明しています。

付録

本装置の主な仕様について、説明しています。

梱包箱の中身

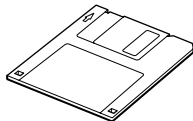
梱包材

本装置を輸送するときには、本装置の梱包に使用されている当社製の梱包材を入れていただくようお願い致します。

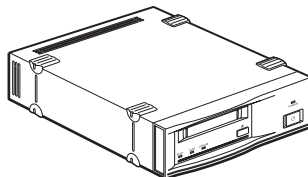
開梱

梱包箱を開けて、必要な付属品が揃っていることをご確認ください。

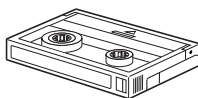
フロッピーディスク
(Windows NT Ver4.0
Driver for SDT-11000)



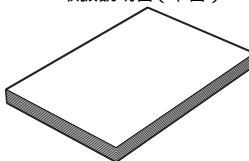
外付DAT装置



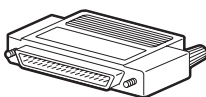
クリーニングカートリッジ



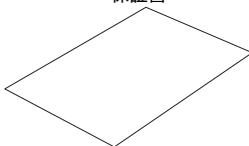
取扱説明書(本書)



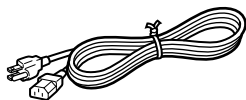
ターミネータ



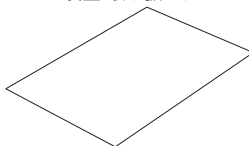
保証書



ACケーブル



DAT装置 取り扱いについて



外付DAT装置を譲渡する場合は、取扱説明書と一緒に譲渡すること。
本装置およびカートリッジの廃棄については、各自治体のルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

概要

外付DAT装置について

本装置は4mm データカートリッジを利用した外付 DAT 装置です。

特長

本装置には、次のような特長があります。

- デジタルデータストレージ(DDS)フォーマットを使ってデータをDDS-2/DDS-3/DDS-4フォーマットの4mmデータカートリッジに大容量記録できます。リードアフターライト機能と第3レベルのエラー訂正コードの採用により、高いデータ信頼性を実現しています。(DDS-1は読み取り(READ)のみ保証)
- テープ長 150m の4mm データカートリッジを使うと、データ圧縮機能^{*1}により、20 ~ 40G バイトのデータを記録できます。
- 4mm データカートリッジに記録されているデータが圧縮されているのか、されていないのかを自動判別。従来の機器で記録した4mmデータカートリッジのデータも、そのまま読み出すことができます。
- SCSI-2(ANSI SCSI-2 X3T9.2/86-109 REV.10C)に準拠。SCSI-2シーケンシャルアクセスデバイスコマンドセットをサポートします。

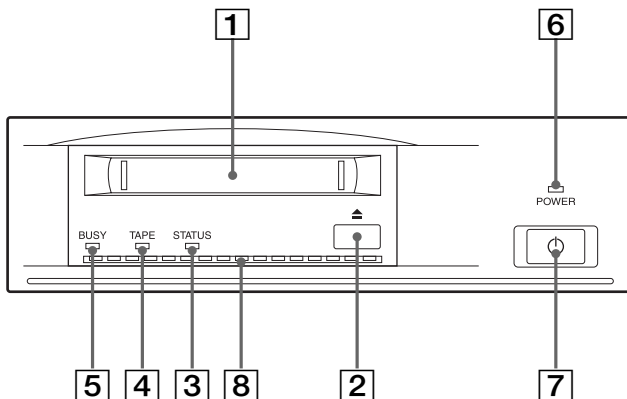
^{*1} 記録されるデータは、使用環境やデータの種類に応じて圧縮率が変動することがあります。(圧縮効率2倍時 40GB)

使用できるカートリッジ

本装置には、当社製4mm データカートリッジ(EF-2422(150m)、EF-2417(125m)、EF-2409(120m)、EF-2407(90m))をご使用ください。ただし、EF-2407(90m)につきましては読み取り(READ)のみ保証します。当社製以外の4mm データカートリッジを使用するとリード/ライトエラーの原因となる場合があります。

各部の名称と働き

前面



- 1** 4mmデータカートリッジ挿入口
4mmデータカートリッジを入れます。カートリッジの入れかた、出しかたについては17ページをご覧ください。
- 2** EJECTボタン
4mmデータカートリッジを本装置から取り出すときに押します。
- 3** STATUSインジケータ
挿入されている4mmデータカートリッジが書き込み禁止状態になっているときに点灯します。また、以下のようなときには点滅します。

クリーニングが必要なとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。
クリーニング中、テープが最後まできたとき	等間隔に点滅します。
ドライブが故障しているとき	短い点灯(2回)と長い消灯を繰り返します。

4 TAPEインジケータ

4mmデータカートリッジが収納されている間、点灯します。また、以下のようなどときには点滅します。

カートリッジの出し入れを行っているとき	等間隔に点滅します。
カートリッジが劣化してきたとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。

5 BUSYインジケータ

SCSIインターフェースを通してデータのやり取りを行っているときに点灯します。また、以下のようなどときには点滅します。

挿入されているカートリッジのデータが正常に読み取り書き込みが行われているとき	等間隔に点滅します。
--	------------

6 POWERインジケータ

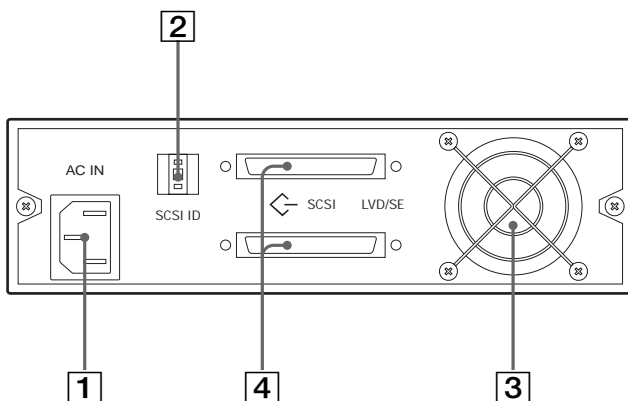
電源が投入(オン)されている間、点灯します。

7 POWER スイッチ

電源を入れたり切ったり(オン/オフ)するときに押します。

8 通風口

背面



- 1** AC電源コネクタ
付属の電源コードを接続します。
- 2** ロータリースイッチ
SCSI IDを設定します。
- 3** ファン
- 4** SCSIコネクタ
SCSIケーブルを使って、ホストコンピュータのSCSIバスコネクタまたは他のSCSI周辺機器に接続します。

準備

付属品を確認してから、本装置をホストコンピュータやSCSI周辺機器に接続します。接続が終わったら、ロータリースイッチでSCSI IDを設定します。

接続のしかた



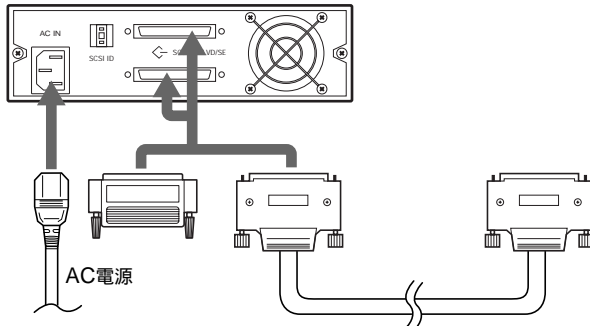
サーバや周辺機器の接続/取り外しをする場合には、必ず大もとの電源コードをACコンセントから抜いてください。

電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま、接続/取り外しをすると、感電の恐れがあります。

本装置側は68Pin Wide SCSI コネクタを使用しています。

ご注意

- SCSIケーブルを接続するときは、コンピュータおよびすべての接続機器の電源を切ってから行ってください。
- SCSIケーブルのコネクタ部は最後までしっかり挿入してください。
- 本装置をSCSIバスの終端に接続する場合は、使用しない側のSCSIコネクタに必ず添付のターミネータを取り付けてください。



SCSI ID の設定

背面のロータリースイッチの上下の(+ -)ボタンを押すと本装置のSCSI IDが表示された値に設定できます。

工場出荷時は、「0」に設定されています。設定したいSCSI IDが表示されるまで繰り返しボタンを押してください。

ご注意

- SCSI IDは、他の周辺機器と重複しないように設定してください。
- 工場出荷時はSCSI parityはenableになっています。また、Term powerはONになっています。
- SCSI IDの設定は、フロントパネルのPOWERスイッチにより電源をオフした状態で行ってください。
- SCSI IDのロータリースイッチは奥まで強く押して設定をしてください。

使いかた

ここでは、サーバ側の設定方法、本装置の立ち上げかた、4mm データカートリッジの取り扱いかたなどについて説明します。

サーバ側の設定方法

WindowsNT4.0をご使用の方へ

本装置をWindowsNTのNTバックアップで使用する場合、テープデバイスドライバ「4mmDATドライブ」を組み込む必要があります。

ご注意

NTバックアップを使用する場合は、他のバックアップアプリケーションをインストールしないでください。インストールしている場合はアンインストールしてください。またNTバックアップ以外のアプリケーションを使用する場合は「4mmDATドライブ」を削除してください。

テープデバイスドライバの追加手順

Windows NT 4.0のNTバックアップを使用する方のみインストールしてください。

サーバにテープデバイスドライバをインストールします。ドライバのインストールには、添付のフロッピーディスクを使用します。あらかじめ用意しておいてください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントして「コントロールパネル」をクリックする。
「コントロールパネル」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「コントロールパネル」の「テープデバイス」をクリックする。
「テープデバイス」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「ドライバ」タブをクリックする。
- 4 「追加」ボタンをクリックする。
「ドライバのインストール」ダイアログボックスが表示されます。

- 5 「ディスク使用」ボタンをクリックする。
- 6 添付のフロッピーディスク「Windows NT Ver.4.0 Driver for SDT-11000」をフロッピーディスクドライブにセットする。
- 7 「配布ファイルのコピー元」ボックスにフロッピーディスクをセットしたドライブ名を入力する。
- 8 「OK」ボタンをクリックする。
ドライバのコピーが始まります。
- 9 インストール後、「テープデバイス」ダイアログボックスの「ドライバ」シートに「NT 4.0 Sony drive」と表示されていることを確認する。
- 10 「OK」ボタンをクリックする。
- 11 「Windows NT セットアップ」を終了し、システムを再起動する。

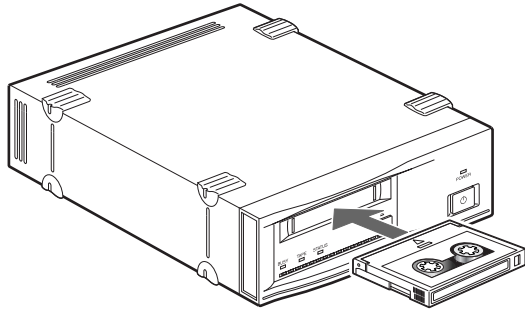
ご注意

NT バックアップを使用する場合は、他のバックアップアプリケーションをインストールしないで下さい。

インストールした場合は、アンインストールしてください。また、NT バックアップ以外のバックアップアプリケーションを使用する場合は、「NT 4.0 Sony SDT-11000 4mm DAT drive」を削除してください。

外付DAT装置を使う

- 1 前面のPOWERスイッチを押します。
電源が入り、POWERインジケータが点灯します。セルフチェックが始まり、STATUSインジケータ、BUSYインジケータおよびTAPEインジケータが点滅します。
- 2 3つのインジケータの点滅が終わったら、4mmデータカートリッジを下図の向きに挿入します。
TAPEインジケータが点滅します。(書き込み禁止の4mmデータカートリッジを挿入した場合は、STATUSインジケータが点灯します。)



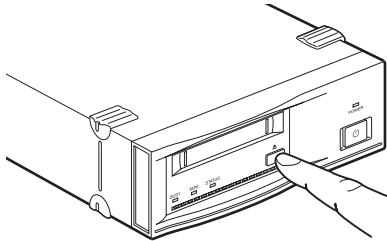
ご注意

- テープの切れたカートリッジを挿入した場合、自動的に排出されます。
- 3 コンピュータ上でソフトウェアを使って、テープ上のデータを読み取ったり、書き込んだりします。
読み取り、書き込み中は、BUSYインジケータが点滅します。

4mmデータカートリッジを取り出すには

EJECT ボタンを押します。

4mm データカートリッジは自動的に排出されます。



ご注意

- 4mmデータカートリッジが排出されるまで、最長約20秒かかります。(テープの巻戻し時間は含みません。)
- カートリッジを入れたままでの移動はやめてください。
移動する場合は、必ずカートリッジを本装置から取り出してください。衝撃が加わったとき、装置やカートリッジを傷める場合があります。
- 電源を切るときは、カートリッジを取り出してください。
カートリッジを入れたままで電源を入れると、カートリッジの寿命が短くなったりバックアップに失敗する場合があります。
- カートリッジが挿入口から飛び出している状態で長期間放置しないでください。
カートリッジの寿命が短くなったり、本装置の故障の原因となることがあります。
- BUSY インジケータが点滅中はEJECT ボタンを押さないでください。
BUSY インジケータが点滅しているときに4mm データカートリッジを取り出すと、テープ上に記録されているデータが破壊される恐れがあります。
- EJECT ボタンを押してもカートリッジが排出されない場合には、EJECT ボタンを10秒以上押し続けることで強制的に排出させることができます。ただし、強制排出はテープを傷つける可能性もありますので、あくまでも緊急処置とお考えいただき、まずは電源OFF/ONによる再起動を行ってください。

ヘッドの清掃

クリーニングは、テープ走行によって生じるゴミや使用環境のほこりによる磁気ヘッド部分への汚れを取り除く大切なものです。磁気ヘッド部分が汚れたまま書き込み/読み取り等、行いますと正常に書き込み/読み取りができなくなる、データカートリッジの寿命が短くなる、テープ表面にキズが付き使用できなくなる、などの障害が発生します。

- 1 添付のクリーニングカートリッジまたは、EF-3237C/EF-3237CNを本装置に挿入します。

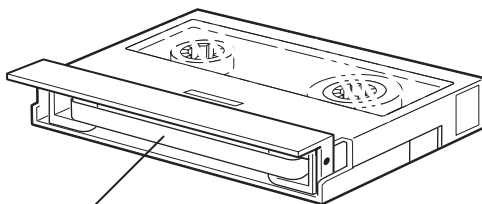
クリーニングが自動的に行われ、約30秒後にクリーニングカートリッジが排出されます。

- 2 クリーニングカートリッジを取り出します。

これでクリーニングが完了です。通常どおりでご使用ください。

ご注意

- ・ クリーニングカートリッジは、EF-3237Cの場合は約30回、添付品またはEF-3237CNの場合は約50回使用できます。クリーニング終了後に、STATUS LED が点滅したときは、クリーニングカートリッジが寿命です。（LED表示は10ページ各部の名称 ③ STATUS インジケータを参照してください。）
- ・ 使い切ったクリーニングカートリッジを挿入した場合は自動で排出されません。EJECT ボタンを押して取り出してください。
- ・ クリーニングカートリッジのテープ面を手で触れたり、テープを巻戻して再使用しないでください。



クリーニングテープ面

ヘッドの清掃周期

クリーニングの周期は使用環境によってもことなりますが、以下を参考にしてください。

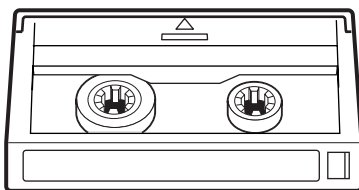
使用頻度	クリーニング周期
1日1巻以下を使用	1週間に1回
1日2～3巻を毎日使用	1週間に2回
1日4巻を毎日使用	毎日

ご注意

- ・クリーニングはなるべく書き込み/読み取り等、本装置を使用する前に行ってください。
- ・新しいデータカートリッジに交換する前にはクリーニングを行ってください。
- ・本装置を使用していない場合でも1ヶ月に1回はクリーニングを行ってください。

4mmデータカートリッジの取り扱い

4mmデータカートリッジの構造



仕様・保管・運搬条件

使用条件

温度	10 ~ 35
湿度	20 ~ 80 %
放置時間	ただし、湿球の最高温度は26 とします。 使用および保管環境条件以外の環境に4mmデータカートリッジがさらされていた場合には、使用および保管環境条件以外の環境にさらされていた時間より長く(最大8時間)使用環境になじませてから使用してください。温度勾配は10 / 時間とします。

保管条件

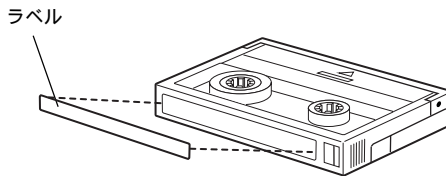
温度	5 ~ 35
湿度	20 ~ 80 %
保管状態	ただし、湿球の最高温度は26 とします。 4mmデータカートリッジは保護ケースに入れてふたをして保管してください。 置き方は水平、垂直どちらでもかまいません。

運搬条件

温度	- 30 ~ 35
湿度	20 ~ 80 %
	ただし、湿球の最高温度は26 します。
温度勾配	10 / 時間
運搬状態	4mmデータカートリッジを保護ケースに収納し、ポリ袋に入れて密閉してください。 輸送の場合には、さらにダンボール箱に入れて4mmデータカートリッジに力が加わらないように包装してください。

ラベル

ラベル貼付位置



ラベルへの記入上の注意事項

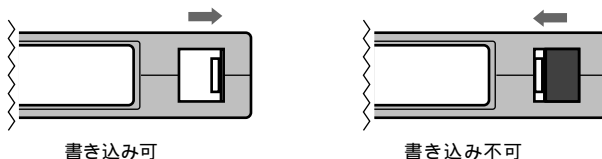
- 4mmデータカートリッジの内容を表示するために用いるラベルは簡単に取り換えることが可能で、取り外したあとに粘着物が残らないようなものを使用してください。
- 内容の表示を変更するときは、消しゴムで消さず、必ずラベルを貼り換えてください(INDEXラベルは、4mmデータカートリッジに添付されています)。
- ラベルを貼るときは前項で指定された位置に確実に貼り、さらに取り換える場合は、古いラベルを取り除いてから新しいラベルを貼ってください。
- 指定のINDEXラベル以外のものを使用する場合は、大きさが合ったものを使用してください。

- ・添付のINDEXラベルには、使用開始年月日が記入できるようになっていますので必ず記入してください。4mmデータカードリッジの寿命をチェックする目安となります。

ライトプロテクト

ライトプロテクトプラグを右下の図のように設定するとテープの内容が保護されます。

一度書き込んだデータを消去したくないときには、このプラグを右下の図のように設定してください。またライトプロテクトプラグを左下の図のように設定するとテープに書き込み可能となります。



取り扱い上の注意事項

使用上の注意事項

使用する前

- ・使用する4mmデータカードリッジが、外的損傷を受けていたり、または変形したり曲がっているときは、使用しないでください。
- ・装置の使用温湿度条件外で保管されていた4mmデータカードリッジを使用する場合は、使用温湿度条件外にあった時間より長く(最大8時間)使用環境に持ち込んでから使用してください。保管場所と使用場所の温度差が大きい場合は、一度に持ち込むのではなく温度変化が1時間に10程度になるようにして、4mmデータカードリッジを使用場所の温度になじませてください。

装置への装着時間

「データカートリッジの挿入」の項の説明に従って4mmデータカートリッジを装着してください。4mmデータカートリッジを取り出したあとの保護ケースは、しっかりと閉じチリやホコリの少ない場所で保管してください。

使用后

使用済みの4mmデータカートリッジは必ず保護ケースに入れてチリやホコリの少ない場所で保管してください。置き方は水平、垂直を問いません。

一般的注意事項

- テープに手を触れないでください。また、テープカバーを開閉しないでください。
- 磁気を発生するものを近づけないでください。
- 直射日光や暖房器具の近くには置かないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 飲食や喫煙をしながらの取扱いは避けてください。また、シンナーやアルコールなどを付着させないように注意してください。
- 使用後は必ずケースに入れて保管してください。
- 装置への挿入は、ていねいに行ってください。
- 4mmデータカートリッジ磁気テープは、ゴミやホコリを嫌います。

使用禁止基準

以下の項目に該当する場合は、新しい4mmデータカートリッジに取り替える必要があります。

- 落下させるなど強い衝撃を与え4mmデータカートリッジが損傷を受けた場合。
- 清涼飲料、コーヒー、紅茶など液体、溶剤や金属粉、たばこの灰などで記録面が汚れている場合。

備考

この状態で4mmデータカートリッジを装置に挿入するとヘッドや装置を損傷したり、汚したりすることになり、装置の故障の原因となります。また、ヘッドの汚れや傷に気付かず新しい4mmデータカートリッジを装置に挿入すると、4mmデータカートリッジを汚したり、傷つけたりして被害を広げることになります。

寿命

データカートリッジは書き込み/読み取り等を行う度に消耗しています。消耗したカートリッジを使用し続けることはエラーの原因となるだけでなく、書き込んだデータの破損にいたる場合がありますので、長い間使用しているテープは交換してください。

データカートリッジの寿命は使用環境によってもことなりますが、以下を参考にしてください。

使用頻度	寿命の目安
1週間に1回	1年
1週間に3回	半年
毎日	3ヶ月

- 使用環境(温度・湿度・塵埃等)によって、目安より短くなることがあります。

4mm データカートリッジの寿命管理として、下記の手順を実施いただくことをお勧めします。

- 新しい4mmデータカートリッジに管理番号を割り当て、その番号を4mmデータカートリッジのラベルに記入しておきます。
- 4mmデータカートリッジ管理台帳を作り、使用日を記録し、4mmデータカートリッジの使用年数と使用回数を見積ります。
- 定期的に、4mmデータカートリッジの管理台帳と標識ラベルを調べ、長く使用されていたり、書き込み、読み取りエラーが発生するなど信頼性が低い4mmデータカートリッジを廃棄します。

またテープ磁性層は、化学物質で構成されており時間経過と共に劣化します。

この劣化によるテープ寿命は、テープ保管の環境(湿度、温度)により大きく異なりますが、カートリッジを使用していない場合でも、購入してから約3年を目安に交換してください。

重要なデータのセーブについて

重要なデータまたはプログラムなどをセーブする場合には、万一の場合に備えて、正副2巻にセーブすることをお勧めします。

また、セーブする際にはバックアップソフトのベリファイ機能を利用し、セーブしたデータの確認も実施していただくこともお勧めします。

ベリファイ機能の利用方法については各バックアップソフトの取扱説明書を参照してください。

こうしておけば一方のテープがチリやホコリによるリードエラーを起こしても、もう一方のテープから復旧でき、大切なデータやプログラムの消失を防げます。

データの3世代管理について

ディスク上のデータをセーブする場合は、セーブしたデータの3世代管理をお勧めします。

3世代管理はテープ3巻(A、B、C)使用して、ディスク上のデータを1日目はテープAにセーブし、2日目はテープBに、3日目はテープCにセーブするというように、A B Cの順番でディスク上のデータをセーブしていくものです。

これにより、例えば一巻のテープCがリードエラーを起こした場合にはテープBのデータを使用してデータを復旧でき、またテープBがリードエラーを起こした場合でもテープAのデータを使用して大切なデータを復旧することができます。

付録

主な仕様

性能

記憶容量	20 G バイト(圧縮時: 40 G バイト) (EF-2422 使用時)
* 圧縮時の値は圧縮効率が2倍である場合の値です。圧縮効率はデータパターンにより変化します。	
ビットエラーレート	10 ⁻¹⁵ 以下
データ転送速度(TAPE)	2.36M バイト/秒(非圧縮時)
バーストデータ転送速度(SCSI)	14 M バイト/秒(最大、非同期) 40 M バイト/秒(最大、同期)
イニシャライズ時間	3 秒未満
ロード時間	24 秒未満
アンロード時間	20 秒未満
巻き戻し時間	80 秒未満(150 m テープ使用時)

環境条件

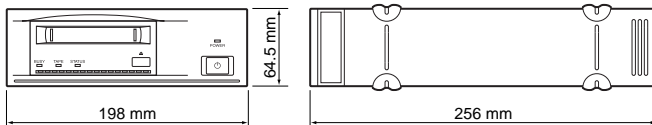
使用時	温度: 10 ~ 35 湿度: 30% ~ 80% (結露のないこと) 最大湿球温度: 26
非動作時	温度: -40 ~ 70 湿度: 10% ~ 90%

電源

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電流	1.2 A (max)

寸法・重さ

幅	198 mm
高さ	64.5 mm
奥行	256 mm
重量	2.3 kg



LED表示一覧

DAT装置					対処方法
テープ状態	装置状態	LED	点灯状態	意味	
正常	正常	BUSY	点灯または消灯	<ul style="list-style-type: none"> • BUSY が点灯しているときはSCSI がアクティブです。 • データカートリッジが挿入されていません。 	
		TAPE	消灯		
		STATUS	消灯		
正常	正常	BUSY	等間隔に点滅	<ul style="list-style-type: none"> • データカートリッジが走行中で、読み書き / 書き込み動作を行っています。 	(注) この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	***		
正常	正常	BUSY	等間隔に点滅	<ul style="list-style-type: none"> • データカートリッジの出し入れを行っています。 	(注) この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
		TAPE	等間隔に点滅		
		STATUS	***		
正常	正常	BUSY	点灯、消灯、または等間隔に点滅	<ul style="list-style-type: none"> • データカートリッジが挿入されています。 	(注) この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	***		
正常	正常	BUSY	***	<ul style="list-style-type: none"> • 挿入されたデータカートリッジが書き込み禁止状態になっています。 	(注) この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	点灯		
正常	正常	BUSY	消灯	<ul style="list-style-type: none"> • クリーニングカートリッジを使いきってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 新しいクリーニングカートリッジと交換してください。また、交換された古いクリーニングカートリッジは再使用しないでください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	等間隔に点滅		

DAT装置					対処方法
テープ状態	装置状態	LED	点灯状態	意味	
正常	正常	BUSY	***	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング要求を意味します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニングを実施してください。 ・クリーニングを実施後、すぐに同じエラーが発生した場合には、新しいデータカートリッジを使用してください。
		TAPE	***		
		STATUS	長い点灯と短い消灯の繰り返し		
正常 または 異常	正常	BUSY	***	<ul style="list-style-type: none"> ・データカートリッジが挿入されており、定義されたメディアウォーニングしきい値を超えたエラーが発生しています。「警告のみ」(データカートリッジが劣化しています。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・純正のクリーニングカートリッジを使用してヘッドのクリーニングを実施してください。クリーニング後再度データカートリッジを挿入し同じエラーが発生した場合には、新しいデータカートリッジを使用してください。(または、クリーニング後新しいデータカートリッジを使用してください。)
		TAPE	長い点灯と短い消灯の繰り返し		
		STATUS	***		
正常 または 異常	正常 または 異常	BUSY	短い点灯と長い消灯の繰り返し	<ul style="list-style-type: none"> ・リセット待機状態 	<ul style="list-style-type: none"> ・データカートリッジは、EJECTボタンを押しても排出しません。ただしEJECTボタンを10秒以上押し続けることにより強制的に排出させることが可能です。強制排出はテープを傷つける可能性もありますので、緊急処置とお考えいただき、まずは電源OFF/ONによる再起動を行ってください。 ・本装置がハード的に故障している可能性があります。 ・電源のOFF/ONによる再起動を行ってください。再起動後も同じエラーが発生した場合は故障です。本装置の交換が必要です。
		TAPE	***		
		STATUS	***		

DAT装置					対処方法
テープ状態	装置状態	LED	点灯状態	意味	
正常 または 異常	正常 または 異常	BUSY	***	• イジェクト待機状態	• データカートリッジを取り出してください。新しいデータカートリッジを使用してください。データカートリッジを変えてもこのエラーが発生した場合は故障です。本装置の交換が必要です。
		TAPE	短い点灯と長い消灯の繰り返し		
		STATUS	***		
異常	異常	BUSY	***	• 装置が異常です。	• 本装置がハード的に故障しています。 • 本装置の交換が必要です。また、このとき使用していたデータカートリッジは、ハード故障によりデータが破壊している可能性があるため、別のデータカートリッジを使用してください。なお、このエラーが発生した本装置及びデータカートリッジは再使用しないでください。
		TAPE	***		
		STATUS	短い点灯(2回)と長い消灯の繰り返し		

*** は本装置の状態に応じてLEDの点灯のしかたが変わりますが、意味や対処方法に影響しません。

運用状況お客様記入シート

本装置を保守・管理する際に必要な情報を記録しておくメモ欄です。

項目	記入欄
サーバモデル名	
オペレーティングシステム (OS)(名称、バージョン、 サービスパック / パッチの適 用状況)	
バックアップアプリケーシ ョン(名称、バージョン、サー ビスパック / パッチの適用 状況)	
SCSIバス構成 (SCSI ID / 同一バス上のデ バイス)装置設置環境	
装置設置環境 (温度、湿度、ホコリの状況な ど)	
カートリッジ種類 (メーカー名、EF型番)	
クリーニングカートリッジ種 類(メーカー名、EF型番)	
クリーニングカートリッジ使 用状況(クリーニング周期、 使用回数や使用開始月の管 理方法など)	
カートリッジ使用状況 (使用回数や使用開始月の 管理方法など)	
カートリッジの管理状況	

N8560-22
外付 DAT 取扱説明書

2000年4月 初版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL(03)3454-1111 (大代表)

© NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

NEC

Printed in Japan

このマニュアルは再生紙を使用しています。



* 4 - 6 4 8 - 1 0 1 - 0 1 * (1)